

課題になっている。

最後になりましたが、今回の滞在に当たり、科学技術庁や気象庁の方々にお世話になりました。滞在中は CNRM の Bougeault 氏に公私にわたって面倒をおかけしました。気象研究所応用気象研究部の方々には快くフランス滞在を認めていただきました。ここにお礼を申し上げます。

#### 参 考 文 献

- Bougeault, P., *et al.*, 1990 : Momentum budget over the Pyrénées: The PYREX experiment, *Bull. Amer. Meteor. Soc.*, 71, 806-818.
- , *et al.*, 1992 : The atmospheric momentum budget over a major mountain range : First results of the PYREX field program, submitted to *Annales geophysicae*.
- 岩崎俊樹, 1991 ; 重力波ドラッグ, *天気*, 38, 603-604.
- 里村雄彦, 1992 ; Jean-Claude André, *天気*, 39, 483-485.

**編集後記**：ある気象関係の趣味の会に入ると、特典として自分の誕生日の天気図をもらえるという話を聞いたことがあります。誰しも、自分の誕生日の出来事には興味があるもので、新聞の縮刷版などを見返した経験をお持ちの方も多いいと思います。

編集後記の原稿の期日がたまたま1月の自分の誕生日だった上に、計算間違いからひょっとして本誌が自分と同じ年の同じ月に生まれたのではないかと思ひ込んだために、図書室に足を運び本誌創刊号を見返して見ました。

残念ながら、(年も違っていたのですが)本誌は1月生まれではなく、1954年5月の生まれでした。創刊のことばによると、本誌発刊の一番の動機は地方在住会員の強い要望であったとのこと。毎号表紙に気象

現象の写真を載せた創刊当時の「天気」からは、1956年1月に正式に気象集誌に次ぐ日本気象学会の機関誌として認知されるのを待たず、単なる雑誌として編集を開始した編集委員とこれを支援する会員の方々の熱気がひしひしと伝わってきます。

御存知のように本誌は本年1月号から表紙や印刷方式などを変えましたが、「地方で埋もれている原稿や写真などが無いようにしたい……。……“天気”は読者の雑誌として発足し、これからももっぱら読者の声によって編集され、発行され……。……ようになりたい」という創刊時の編集方針は今も変わっていません。創刊時の熱気を持ち続ける為にも、読者の皆様の本誌への積極的なご参加をお願いいたします。

(新野 宏)